

Title	奥付
Sub Title	
Author	
Publisher	三田社会学会
Publication year	2008
Jtitle	三田社会学 (Mita journal of sociology). No.13 (2008. )
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AA11358103-20080000-0138">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AA11358103-20080000-0138</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 編集後記

私立大学に勤めて社会学の教育に関わっていると、とりわけ大学院のレベルで、研究者養成の機能を果たすことが年々難しくなっていくのを感じます。あたかも専門の研究者を育てるのは一部の国立大学に委ねておけばよいとでもいうような政策的誘導が、じわじわと効果を発揮し始めているようです。しかしその中であって、慶應義塾大学は、高度の研究機能と教育機能を結びつけることのできる数少ない私立大学のひとつであり続けているように見えます。なぜそれが可能なのか。説明を一言に尽くすことはできませんが、さまざまなメディアやチャンネルを通じて世代を超えた経験の伝達がなされていることが、そのひとつの要因かもしれません。『三田社会学』も、ささやかながら、その継承の輪の一端を担うものであることを願っています。

本年度も、刊行にあたり、三田哲学会からの助成をいただきました。記して感謝いたします。

(編集委員長 鈴木智之)

### 編集委員会

鈴木智之(委員長) 菅野博史 熊田俊郎 澤井敦  
北中淳子(事務局) 李光鎬(事務局)

題字は福沢諭吉による

## 三田社会学

### 第13号

発行 2008年7月12日

編集発行：三田社会学会

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45

慶應義塾大学文学部北中研究室内

Fax 03(5427)1578

印刷：梅沢印刷所

350部発行